

文化・芸術

〈名画の扉〉

企画展「The日本・画—大川美術館のコレクションを中心に」から

加山又造は四条・円を受章。幅広い時代の山派の絵師を祖父、京都・西陣の衣装図案家を父に持つ京都の伝統的な家庭に生まれ、幼いときから絵画に親しみました。

加山又造 (1927~2004年)

「凍林」

1960年、紙本彩色
113.0cm×146.3cm



京都市立美術工芸学校、東京美術学校日本画科に進み、卒業後は山本丘人に師事。山本上村松篁、秋野不矩ら率いる創造美術に参加し、戦後の画壇で革新的な日本画家として活躍しました。

多摩美術大学、東京芸術大学で教壇に立ち後進の育成にも励みます。

1997年に文化功労者として顕彰され、2003年に文化勲章

(大台)